

めっかいもうさん！

種子島農業普及だより

編集発行 熊毛支庁農林水産部農政普及課 (年3回発行)
西之表市西之表7590(TEL(0997)22-0053,22-0742/FAX22-1729)



農政普及課長
しもえびす ひろみ
下夷 宏己

種子島農業をさらに伸ばすために、関係機関・団体と連携を図りながら、担い手や組織育成及び産地振興に努めます。
今年度もよろしくお願ひします。

技術普及係	経営普及係	農業振興係	
 うしお しげのり 潮 恵 技術主幹兼技術普及係長 (技術普及総括、花き、試験研究・産学官)	 みずしま しんいち 水島 真一 技術主幹兼経営普及係長 (普及企画総括、果樹、就農ディレクター)	 うえの じゅんや 園田 純也 農業振興係長 (農業振興総括、農林統計)	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> きよもと なぎさ 清本 なぎさ 技術専門員 (安納いも、スマート農業) </div> <div style="width: 45%;"> うえの みつのり 園中 光範 技術専門員 (野菜、農業経営者クラブ) </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> しげみず たけし 重水 剛 技術専門員 (作物、新規就農) </div> <div style="width: 45%;"> おつじ ようこ 尾辻 陽子 技術専門員 (担い手、経営、指導農業者) </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> おおくぼ あきら 大久保 明彦 技術専門員 (さとうきび、鳥獣害) </div> <div style="width: 45%;"> かわの まほろ 川野 実 技術専門員 (畜産、草地・飼料) </div> </div>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> しげた こうじ 柴田 幸児 技術主査 (畜産、制度資金) </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> かこぎ りょう 鹿子木 聡 技術主査 (茶、青年、農業機械、病虫害) </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> ながやま よしき 長山 佳樹 農業技師 (ブランド、園芸、米、たばこ) </div> <div style="width: 45%;"> ふるまち ゆき 古市 夕紀 主査 (農産物地産、農業金融) </div> </div>	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> まえだ ひさかず 前田 久実 技術主査 (さつまいも、茶、担い手) </div> </div>			

定期異動で5名が転出し、農林水産部長は退職となりました。

- ◎ 定期異動 仁田尾 学(南薩地域振興局農政普及課)
- 富濱 毅(鹿児島地域振興局農政普及課日置市駐在)
- 久米 高弘(県総務文化スポーツ局スポーツ振興課)
- 下古立 正美(県農政部経営技術課)
- 武 貴子(県農政部農村振興課)
- ◎ 退職 福永 智明(農林水産部長)

さつまいもの新病害「サツマイモ基腐病」

近年、さつまいも産地で、茎葉の立枯症状や塊根(いも)の腐敗などの被害が発生し、種子島でも被害拡大が懸念されています。今回は本病害の特徴、対策等を紹介します。

1 被害の状況

いもの腐敗



腐敗の外観と切断面

・成り口から乾腐
・黒斑病と同臭

育苗期の発生



葉の萎縮・奇形



いも側からの黒変

本ほでの発生



株単位でのしおれ



しおれ株は地際が黒変



茎葉の枯死(点から面へ)

2 防除対策のポイント

□ 採苗方法

感染リスクは基部から離れるほど低くなるため、地面から5cm程度離れた位置で採苗し、健全な苗を確保する。

□ 苗消毒

ベンレート水和剤による苗消毒は、初期の発病抑制効果が高い。苗消毒は採苗当日に行い、消毒液は使用当日に調製し、翌日以降に使いまわさない。

□ ほ場準備・土壌消毒

発病ほ場の残さは伝染源となるため、複数回耕うんを行い、腐熟を促進し、地温15℃以上の時期にクロールピクリンやバスアミド微粒剤等で土壌消毒する。

□ 排水対策

本病は水が停滞しやすい部分に発病が多いことから、ほ場周囲に額縁明きよを掘り、排水性の向上を図る。また、枕畦を設ける場合は右写真のように途中に水路を設置し、排水溝に接続する。



□ 発病株除去・薬剤防除

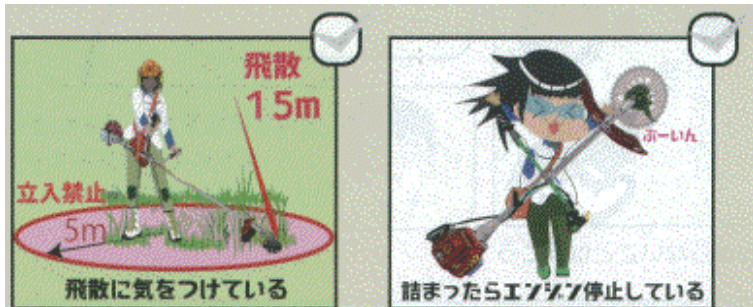
伝染源となる発生株は早急に抜き取り、ほ場外に持ち出す。その後、予防効果のある登録薬剤(Zホルダー、ジーファイン水和剤)を散布する。

被害の拡大を防ぐには、未発生ほ場に病原菌を持ち込まない対策が重要です。一方、多発ほ場では最低2年間、さとうきび等の輪作により病原菌の密度低下を図りましょう。

いつもの農作業，慣れによる事故に注意！

刈払作業前には、足場の安全性と体の防護、飛散物の危険がないかを確認しましょう。異常を感じた時は、エンジン停止を心がけましょう。

※刈払作業は15m以上の距離を確保(目安)して、飛散物等によるケガや物損を防ぎましょう。



見直そう！農業機械作業の安全対策

～今日も無事故で家族が待つゴールへ～

基本事項の再確認！

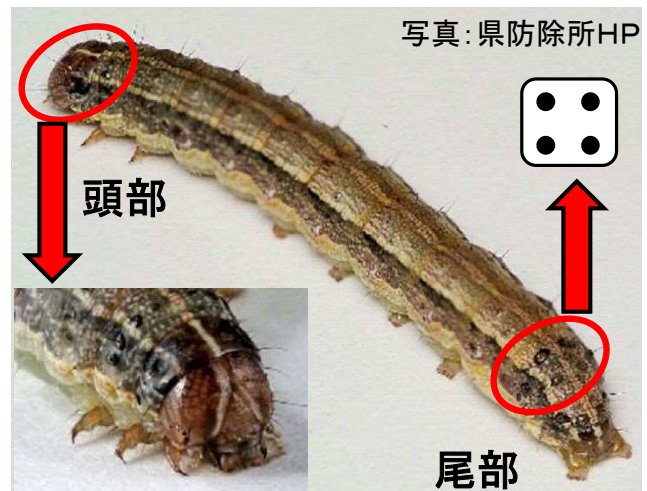
「当たり前なことを、当たり前に行いましょう。」

農作業事故は「午前11時台が最も多く、次いで午後4時台が多い」実態があります。このことから、作業に対する慣れと疲れ、集中力低下等の要因が事故発生につながりやすいと思われます。熱中症対策も併せて行いながら、事故発生防止に努めましょう。

ツマジロクサヨトウに注意！！

本虫は、南北アメリカ原産の農業害虫でトウモロコシ、ソルガム、さとうきび、野菜類等、80種類以上の作物に被害を与え、長距離飛翔することが知られています。昨年7月、国内ではじめて発生が確認され、21府県で被害が発生しました。

種子島でも飼料用トウモロコシやスイートコーン、緑肥用ソルゴー、さとうきび(夏植)での被害が確認され、本年も発生が懸念されます。幼虫の特徴としては、頭部に逆Y字の模様、尾部に4つの黒斑があり、幼虫の色は群生で異なります(緑色から茶褐色)。



食害の状況

【防除対策】

- 1 幼虫の早期発見(特に発芽後2～3週間の生育初期)
- 2 発生確認後は散布剤による防除

(発見後の粒剤防除では効果発現が遅いため)

※適用農薬等、より詳細な情報が農林水産省HPにありますので、ご確認ください。